

# 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部
1-③	生涯学習や芸術・文化活動の環境を充実する	市民部、社会教育部

所管事業に関連する成果指標								
指標名	単位	計画 策定時	実績値				31年度 目標値	進捗 状況
			27年度	28年度	29年度	30年度		
各種講座・講習会への参加者数（年間）	人	48,314	51,614	49,000	46,845	46,836	49,000	C
博物館・美術館の特別展の観覧者数（年間）	人	133,008	141,727	148,097	137,906	198,813	138,900	A
関連事業								
○地域の人材発掘・活用事業○多様な学習推進事業○魅力ある美術展覧会事業○美術教育の普及・体験事業○博物館教育普及活動推進事業○博物館特別展事業○無形文化財保存事業○囲碁文化振興事業○崇善地区地域交流・市民活動拠点づくり推進事業○地区公民館整備事業								
決算額								
		28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費（千円）		104,294	83,345	84,851				
執行率（%）		95.06	93.05	82.56				
施策の推進に向けた主な取組の「成果」								
<ul style="list-style-type: none"> <li>地区公民館の講座や利用団体の活動の中で、地域の登録人材を活用するとともに、中央公民館での市民大学講座、市民アカデミーや地区公民館でのシニア向け事業、家庭教育学級や自主事業を開催したほか、崇善公民館及び市民活動拠点の機能を併せ持つ複合施設を整備しました。</li> <li>美術展覧会やワークショップを開催したほか、天文分野や民俗分野の特別展に加え、神奈川県と共催した考古分野の特別展を開催しました。また、民俗芸能継承団体の地域公演活動や後継者育成等を支援するとともに、各種囲碁大会や囲碁教室を開催するなど「囲碁のまちひらつか」を全国に発信しました。</li> </ul>								

### 施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・地区公民館における人材登録を進め、指導者の登録数を増やしていくとともに、各種講座について、多くの市民に受講してもらう必要があります。
- ⇒地域で様々な技能を持った人材を発掘・活用するとともに、社会情勢や地域の課題を捉えた講座を企画立案します。
- ・美術に関心を持つ人や地域の歴史、自然に親しむ人をよりいっそう増やす取組が必要です。また、民俗芸能への理解と興味の喚起や囲碁のまちとしての認識を広めることが必要です。
- ⇒世代や内容などバランスのとれた展覧会の企画やワークショップの充実を図ります。開催時期やテーマを工夫して効果的なイベント実施を図ります。また、民俗芸能のPRと各団体への活動支援を行うとともに、囲碁の展示や囲碁教室を行うなど、（公財）平塚市まちづくり財団と連携しながらPRを進めます。

